

因幡てみ

(いなば・てい)

能力：『人間を幸運にする程度の能力』

所属：永遠亭(第02回大会～第26回大会)、GM軍(第27回大会～)

てみり리카ズ シスターズ(第25回大会～、U3級タッグユニット)

ファイト・スタイル

卑怯者・東プロ随一のエンターティナー

勝つためには手段を選ばない戦い方で、

相手への反則誤審誘引、凶器攻撃、急所攻撃何でもありである。

しかしある意味でその手段にもっていく為の更なる手段を常に考えて

試合を展開しているとも言え決定的な場面を作り出している。

またまともにやれば生来の身軽さと危険な垂直落下技を巧みに組み合わせ、

先述の反則、もとい『悪戯』とあいまってメリハリのある試合を展開できる。

例外的にてみにはエディ・ゲレロの様なギミックが多数適応されていると思われる。

まるで往年のエディのような仕草にファンからは『エてみ・ゲレロ』

『うてみーノ・ヒート』等と評価されているが

基本的にナチュラルボーンヒールなので『このう詐欺野郎!』と罵るベビーファンもいる。

それを体現付けるかのような技やギミックの数々で構成される試合は

エンターテインメントそのものであり良い子には見せられないが

つい熱が入ってしまう試合を演出する事には長けている。

GM天子と並び、米国プロレスWWEのリスpekターである。

試合内外のその演出もあわせてお楽しみください。

エンシェントデューパー/パイプ椅子

相手にどこからともなく取り出したパイプ椅子をパスし、痛がるふりをすることで

レフェリーのミスジャッジを誘引する。

「エてみ・ゲレロ」の異名を頂戴するきっかけとなった。

またの名を『う詐欺』もしくは東方永夜抄で使用したラストワードにちなんで『エンシェントデューパー』(古代の詐欺師)。

これが技か?と言われると疑問を呈する方々も多いかと思われるが

最初の試合で披露した際に文がコメントした様に、

相手の反則行為を誤審誘引させる行為で200勝以上したタッグが

現実に存在する。かつてDRAGON GATEに存在した

マイケル岩佐(現:岩佐拓、現在もドラゲ-所属)とダニエル三島('07年引退)の

フロリダ・ブラザーズというタッグギミックにおいてその記録が達成されており、

てみ自身も自身の試合で度々使う程の強烈な説得力を持つフィニッシュムーブである。

噂によるとクリティカル判定も存在するらしいのだが...(35回大会参照)

元祖は「ズルして騙していただき」のエディ・ゲレロ。

シャイニング・てみザード

別名:閃光詐欺師

ダウン後立ち上がろうとする相手の膝を利用し反動をつけ、

相手の顎や頭部を膝で蹴り飛ばす蹴り技、手癖も悪ければ足癖も悪い。

当初のシャイニング・ウィザードはまさに膝をぶち込むといった印象の技だったが、最近は膝というよりも内股から膝の内側を、相手の頬から即頭部にかけてすり上げるように当てる技になっている。
オリジナルは全日代表取締役社長 武藤敬司のシャイニング・ウィザード。
元々世界的に評価の高いレスラーによる衝撃的な新ムーブでフォロワーが大量にいる。

チンクラッシャー

相手のアゴを、自分の頭頂部に押し当て、自身の両手を相手の後頭部でクラッチし、固定。
その状態で、自らジャンプし両膝から着地することで、相手のアゴに衝撃を与える技。
表記に難があるが英語で『Chin』は『顎』を意味しており、『アゴ砕き』としたちゃんとした技である。
(ちなみにアメリカではジョーブレイカー(Jawbreaker)と呼ばれる技)
オーソドックスな技で、今日までのプロレス業界でもオリジナル・変形版もよく使われている。

『悪戯』因幡の玉兎(ちんクラッシャー)

ダウンしている相手の両足を抱えて開き、その付け根を膝で踏みつけて攻撃する技。
狙っているのは左右2箇所ある鼠蹊部(そけいぶ)のどちらかへの攻撃なので
反則ではないと主張している。
英語にすると『groins crusher』だが『その間への』を入れて和訳すると
解釈次第では反則になり、
ひらがなを漢字に変換すると『珍』が出る輩があまりにも多い悪戯。
上記チンクラッシャーから繋げられる事が多く、その時の実況の掛け合いは竹林のお約束である。
技名は、[東方花映塚](#)で使用した『兎符「因幡の素兎」』より。

幸せ四つ葉のクローバー

仰向けに寝ている相手の左足を右のわきの下に抱え込み、
相手の右足のすね部分を膝裏にあてる形にして自分の両手をその下からくぐらせて、
相手左足の太腿の上で両手をクラッチする。
(足4の字固めの曲げたほうの足が下にきている状態)
そのままステップオーバーして逆エビ固めをも極める。
所謂テキサスクローバーホールド。
オリジナルはテリー・ファンク。
エディ・ゲレロもヒール時代にウラカン・ラナからの連携技(ラソ・フロム・エルパソ)として使用していた。
(ラソ・フロム・エルパソはチャーリー・ハースのハース・オブ・ペインと同型の足関、逆エビの複合技でもある)

幸せ兎の開運トルネード

倒れている相手に、ポスト上から2回転ひねりを加えたムーンサルトプレスを行う技。
竹林で迷った人間へ幸運をプレゼントするために編み出された技であろう。
所謂カンクーントルネード。
元ネタは大阪プロレスえべっさん(現在は菊タローの名でフリーで活躍中)の「開運トルネード」。
同型の技に関空トルネードなど。

もちつきドライバー

相手の背後からブレーンバスターの要領で持ち上げた後、脳天から落として片エビ固めを決める。
決まった形こそグングニル([レミリア](#))と同型だが、その落差はレーヴァティン([フラン](#))クラスであり、
数ある垂直落下系の技でも屈指の危険技になっている。
こんな技を使いこなしながら、あくまでフィニッシュは反則裁定を騙し取るのが兎詐欺たるゆえんである。

オリジナルはTAKAみちのくのみちのくドライバー（ベロ）、現在は隠し玉中の隠し玉。

ブラックてみガーボム(BlackTeigerボム)

てみの大技その2。

パワーボムの要領で持ち上げた相手を肩に担ぎ、
両脇に手を入れ、万歳するように持ち上げてから前方に放り、
胴を抱えて頭から落とす。

[幽々子](#)のラストライド同様の高さ(背中にまで持ってくるので角度的にはそれ以上)まで相手を持ち上げ叩きつける、危険な破壊技である。

狡猾な兎は、純粋な力技でも戦えるのを証明した。でもあくまで反則メイン、それがてみ。

オリジナルは2代目ブラックタイガーによるBTボム（ブラックタイガーボム）。

なお2代目の正体とされているレスラーは[この人](#)。

リバース・パイルドライバー

パイルドライバーという技は大まかに2系統に分類される。

相手の顔を自分と反対に向けて、尻もちをついて落とすタイプ（ドリルアホール・パイルドライバー）と、

相手の顔を自分に向けて、膝をつくように落とすタイプ（ツームストーン・パイルドライバー）である。

そして、ツームストーンで抱えてドリルアホールで落とすのがこの技（厳密にはジャンピング・リバース・パイルドライバー）。

ジャンプせずに落とすと、首が相手の両足に挟まれて360°完全に固定されたまま突っ込んでしまい、

頸椎を損傷してしまう可能性があるため、禁じ手となっている。

（[スティーブ・オースチン](#)が[蝶野正洋](#)の首を負傷させた技）

映像をチェックしていただきたい。てみがこの技を出すとき、必ずジャンプして開脚しているのが確認できるはずである。

その他使用技

スタナー([GM軍](#)移籍後は封印)

サミング(目潰し、[輝夜](#)も使用する、ヒールの象徴)

凶器攻撃(てみは主にハンマーを使用、因幡のもちつき杵)

178([咲夜](#)の398、[文](#)の109と並ぶ、ミステリオの[アレ](#))

フロッグスプラッシュ(亡き[エディ](#)も得意としていた屈伸ボディプレス)

など。

悪戯で試合を掻き乱すばかりか高度な軽業も難なくこなし、とんだ危険技も隠し持っている。トリッキーさで言えばまず間違いなく団体トップだろう。

戦績

[部分編集]

全戦績 -ネタバレを含むので注意-

タイトル歴

なし

人間関係

▶ [鈴仙・優曇華院・イナバ](#)

(ウササササ)

▶ [蓬萊山輝夜](#)

(主人、姫様、お主もワルよのっ)

▶ [八意永琳](#)

(元上司、いなくなって清々したウサ)

▶ [リリカ・プリズムリバー](#)

(タッグパートナー。)

▶ [GM比那名居天子](#)

(新たなる上司、話の分かるGM)

▶ [永江衣玖](#)

(GM軍パシリ)

▶ [パチュリー・ノーレッジ](#)

(ある意味重要なパートナー、兔詐欺の共犯。)

▶ [白玉楼・八雲一家](#)

(強大だった砦をあらゆる謀略で墮としたのはてみである。しかしまともに戦うと勝ち目はまずない)

入場曲

お宇佐さまの寮い幡

(おうささまのしろいはた、と読む)

評

[[部分編集](#)]

-

悪戯者世にはばかり 第04回大会～第26回大会

旗揚げ時からの登録選手。

初登場は第04回大会、いきなりの初代LTW王者決定トーナメントでの披露となった。

パートナーは鈴仙、タッグ名はてみレーセンとして登場し、

紅魔館組のレミリア、フランに真っ向から反則攻撃を仕掛け逆に怒りを買ひ

兎なのにフランに餅つき式パワーボムを喰らい更にストマッククラッシャーまで浴び何もしゃべれずにリングを後にした。

しかしその時に見せた動きから、今は亡き外の世界のスーパースター、エディ・ゲレロの再来ではないかとささやかれ始める。

第8回大会には永遠亭リーダー(主人のやる気の無さから)であった永琳と紅魔館との抗争が勃発。

第 回大会には『紅魔館vs永遠亭全面抗争』が展開され、予想外のピンフォール勝ちを収める。

実際試合展開としては一方的にやられる鈴仙と、うまく場をコントロールするてみの差が顕著に現れた試合であった。

永琳が突如永遠亭を脱退し紅魔館に移籍してからは純ヒールを突き進む紅魔館とは全く違うベクトルの

悪戯ヒールとして、多少やる気を出した輝夜と共に突き進み、鈴仙一人を置き去りにする展開が進められた。

磨きに磨きをかけた悪戯兎は、第25回大会からのLU3T設立の際に

タッグパートナーを虹川楽団のリリカに決定し、

それに合わせてエディの持ち技をモノにした事がsakiプロデューサーの口から公開され、同時にその口調までエディのそれ(正確にはルミエール訳)に、名実ともに『エてみ・ゲレロ』となった状態で

椀・にとり組との初戦を迎えたが、不思議な事にこのシリーズではあまり悪戯を行わず敗北。

試合後『トーナメントで勝ち抜かなくてもベルトなんて取れるのよ!』と放言し会場を後にした。

+ GM軍の悪の頭脳へ 第27回大会～第33回大会

+ 狡猾兎の本領発揮 第34回大会

+ どこまでもう詐欺 第35回大会～

+ 東プロエンタテインメントプロレスの象徴『兎詐欺てみ』

東方プロレス ファンBBSスレッド

(関連スレ)

虹川スレ【鬱躁】騒霊楽団応援劇場・初回公演【幻騙】

リリカと組んでいる関係でてみの話題も可

GM軍スレ【あいしてる】GM軍ファンの集い その2

永遠亭スレ [【あっち。】永遠亭 -子の一つ-【こっち。】](#)

[このページを編集](#)